

# PATENT Attorney®

パテント・アトニー

弁理士は知的財産権を社会に活かすパートナー

■特許庁からのお知らせ  
■日本弁理士会からのお知らせ

特集

弁理士の日  
イベント報告

ヒット商品を支えた知的財産権  
健康な食生活にアプローチする新技術  
「サンアクティブFe」

PATENT



秋

号

日本弁理士会広報誌

2003

第31号

# 特集

## 2003 弁理士の日 イベント報告

東京 TOKYO

▼かわいい「パペロ」は大人気!



お笑いタレント春一番さんを交えたトークライブも行われました。

パペロは人間の音声を理解し行動するロボットで、可愛らしい姿をしています。そのため子供も大人も真



つ先にパペロへ近づき、興味津々な表情でパペロに話し掛けていました。

ロボット相撲

▶熱戦!!ロボット相撲!

同様に人気があり、子供たちは順番を待ちながら巧みにロボットを操作して相撲道に専念していました。皆あまりに力が入りすぎてロボット4体すべての操作スティックを折ってしまったのにはびっくりしましたが、折れてもなお夢中で遊んでいた子供たちの不屈の精神には関心させられました。このコーナーは閉館となるまでずっと大盛況でした。

ストロー笛コンサートは、午前と午後の合わせて2回行われました。子供たちは

弁理士の日の東京でのイベントは、6月28日(土)日本科学未来館(MeSci(ミサイ))で行われました。日本科学未来館は様々な科学技術を体験できる大施設であり、科学技術と知的財産権は表裏一体の関係でもありますので日本弁理士会の催事場としてはこの上ない場所です。会場は1階の入り口隣の広間に設置されていたので、入館された人の殆どが弁理士の日のイベントに興味を持って参加していました。

イベントとしては、パペロ・ロボット(パーナー型パーソナルロボット)の実演、ロボット相撲、神谷徹さんによるストロー笛コンサート、ソーラーカー試乗(屋外)等が行われました。また、7階のホールでは、

神谷さんの前に座り込み、回転や波打つ不思議な形のストローの前で音楽を聞き入っていました。

さて、午後から行われた「知ってる!? 右左ホンモノはどっち!?」のトークライブは、ポロラルフローレンジャパンの島本哲夫さん、セイコーインスツルメンツの渡辺京子さん、下坂スミ子日本弁理士会会長、そして峯唯夫同副会長が偽物対策や偽物と本物の見分け方や知的財産の説明等を判りやすく説明したところで、メイゲスト春一番さんがアントニオ猪木の入场テーマソングに合わせて会場入りしてきました。第二声に「私、場違いなところに来てしまった気がします。」と本音をポロリ。それはともかくとして、春一番さんの物真似に権利があるかや、売り出されている春一番グッズの権利の必要性について面白おかしく話していただき、会場の雰囲気良くなったことは間違いありませんでした。最後はもちろん「行くぞー!!1:2:3:ダ——ッ!」で締めさせていただきました。

トークライブが終わったところ、雨も上がり、ソーラーカーの試乗も外で行うことが可能となりましたので、車を外に出し試乗体験してもらいました。約20メートルの距離を子供が目をキラキラさせて運転していました。



その他にもクイズラリーや発明品展示、発明無料相談なども行い、イベント参加者には携帯電話用クリナーを持ち帰っていただきました。

### 7月1日弁理士の日、日本弁理士会中央知的財産研究所が主催する公開フォーラムが弁理士会館において開催されました。



▲大盛況の公開フォーラム

中央知的財産研究所は、日本弁理士会の附属機関であり、知的財産及び弁理士に関する諸問題について研究課題毎に研究部会を設置して調査研究活動を行っています。今回は、弁理士の日を記念して、講師に早稲田大学法学部教授高林龍先生、バイエル薬品株式会社中央研究所在籍の弁理士高山周子先生、東京大学法学部教授中山信弘先生をお招きして公開フォーラムが行われました。

高林先生からは、「クレーム解釈をめぐる最近の動向」について、高山先生からは「バイオテクノロジーと法的保護」について、中山先生からは「21世紀の知的財産戦略」についてお話をいただきました。

「知的財産戦略本部」が設置されるなど、現在、知的財産権をより積極的に活用していくという動きが強まっており、また、様々な分野で研究開発が行われ技術は日々進歩しています。このような状況の中で知的財産を適切に保護し活用していくためには、今後なお研究、検討していかねばならない課題がまだまだ

▼満席のテイジンホールで行なわれた講演会



2003年7月1日の弁理士の日を記念して、近畿支部では、6月28日(土)に記念講演会及び無料特許相談会を企画実行しました。

記念講演会は、大阪市中央区のテイジンホールにて、「中国特許事情―権利行使と保護の実態―」をテーマとして行われました。昨年も同じ記念講演会として中国特許事情を取り上げたのですが、反響が大きく、終了後のアンケートでも再度同じテーマでの講演を希望する声が多かったため、国での知財の法制面、実務面の紹介、解説をテーマとした昨年をふまえて、今年は、実際に中国で知財の実務に携わっておられる企業の方々に中国での知財保護の実態を講演、ディスカッションして戴きました。講師は、財団法人知的財産研究所研究部長関和郎氏、住友ゴム工業株式会社知的財産部部長伊勢木敏氏、伊藤ハム株式会社総務部法律室室長大澤頼人氏、ヤマハ株式会社法律室知的財産部国際法務担当課長伊藤知

生氏、三洋電機株式会社知的財産ユニット模倣対策著作権チーム課長途信聖二氏、三枝国際特許事務所中川博司弁理士の各氏が勤められました。

各講師によって中国での知財権利保護の実際が具体的事例に即して報告され、また、効果的な対策の紹介がなされ、後半では各講師によるパネルディスカッションが行われました。近畿地区では実際に中国で活動を行っている企業が多いこともあって、参加者は熱心にメモを取ったりしながら聞き入っておられました。終了後に回収したアンケート



「実例の報告が多く分かりやすかった」、「実務の方が抱えている問題が具体的に説明され、大変参考になった」との意見が多く、今後この種の講演会の開催を望む声が多く寄せられました。ちなみに、参加者は230名強であり、250名収容の会場がほぼ満席であり、弁理士、弁護士の方々も見受けられました。

また、同じ日に、大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山において、近畿支部弁理士制度昂揚普及委員会委員の弁理士を相談員として無料特許相談会が行われ、41件の相談に応じました。



▲無料特許相談会

▼知財セミナー



6月28日(土)に名古屋市中区栄のナディアパークで弁理士の日記念イベントが催されました。当日は、会場内のプレゼンテーションルームにおいて知財セミナーが行なわれるとともに、セミナールームにおいて休日パテントセミナーが行なわれました。

知財セミナーでは企業の技術者や知財担当者向けに3つの講演が行なわれました。まず、「社員の発明は誰のものか?―見直される職務発明規定―」と題する講演が山本尚弁理士によって行なわれ、続いて、「インターネットを使った情報検索」と題する講演が市川浩弁理士によって行なわれ、最後に、「知的財産の権利侵害への対抗策―権利侵害の泣き寝入りを防ぐために―」と題する講演が後藤憲秋弁理士によって行なわれました。いずれの講演にもたくさんの方々に参加をいただき、ほとんど満員になるほどの盛況となりました。参加者の多くは、熱心にメモをとりながら、講演に聞き入っておられました。

だあるというお話を諸先生方から伺うことができたようです。  
今回の公開フォーラムへの参加者は300名近くにのぼり大盛況でした。

休日パテントセミナーでは一般市民向けに3つの講演が行なわれました。まず、「特許明細書の書き方」と題する講演が渥美久彦弁理士によって行なわれ、続いて、「米国特許の取得手続き」と題する講演が三浦高広弁理士によって行なわれ、最後に、「知的財産権について」と題する講演が村瀬裕昭弁理士によって行なわれました。この休日パテントセミナーは、日本弁理士会東海支部が主催する市民講座であり、本年度は弁理士の日以外にも、9月から3月まで月1回のペースで開催されます。特に、本年度は名古屋だけでなく豊橋市等においても予定しております。興味のある方は日本弁理士会東海支部までご連絡下さい。その他にも、特許庁の電子図書館を実際に体験していただく特許検索教室や、特許無料相談会なども行なわれました。特許検索教室には30件の相談があり、日本弁理士会東海支部の担当弁理士によってマンツーマンの指導が行なわれました。特許無料相談会には15組の相談があり、日本弁理士会東海支部の担当弁理士がこれらの相談に応じました。



▲特許検索教室(上) 特許無料相談会(下)

# ヒット商品を支えた知的財産権

## 健康な食生活に「サンアクティブFe」 アプローチする新技術

特許第3050921号  
商標登録第3208380号

豊かな食生活の裏で、ミネラル、ビタミンなど特定の栄養素が足りない人が少なくない。これらを無理なく自然な状態で摂取することができたら……。そんな願いに応えるのが、太陽化学(株)の開発した技術「ニュートリションデリバリーシステム(NDS)」。

NDS技術とは、「ミネラル、ビタミンなど健康のために摂取が望まれる栄養素を、安定した状態で美味しく、体への吸収性が高くかつ体に負担をかけない状態で体内に運搬するシステム。ナノテクノロジーと乳化を制御する界面活性技術の組み合わせにより生まれた、これまでになかった全く新しい技術だ。

そのNDSを使ったヒット商品が平成8年に世に出た「サンアクティブFe」。商品そのものを一般消費者が直接目にするのではないが、各大手メーカーの乳飲料や乳製品に、鉄分補強剤として使用されている。世界の権威ある賞を受賞するなど、世界各国でもその技術力が認められ需要を伸ばしている。鉄分強化剤剤分野では後発だった太陽化学を、発売5年でトップシェアに飛躍させた革新的商品なのだ。また、WHO等の報告によれば、鉄分は世界で最も不足している栄養素で、世界人口の約70%が鉄不足の状況にあるという。これはまさに時代の求める商品でもあったわけだ。

VOL. 31

「サンアクティブFe」の大きな特長は3つ。比重が高く水に溶けない鉄分を、乳飲料などの中であたかも溶けているような状態に保つこと。胃酸の影響も受けず腸で効率よく吸収されること。そして鉄の味を感じさせず食品自体の美味しさを損なわないこと。実は採用製品が市場に出た当初、ユーザーの消費者センターに電話が殺到した。「鉄分補強と書いてあるのに鉄の味がしないじゃないか」という声に、太陽化学の開発者たちは「してやったり」と嬉しい驚きを得たとか。

太陽化学は全社員に占める研究員比率が25%という研究開発型企業だ。「サンアクティブFe」と同様、他のミネラルやビタミンもNDS技術により商品化を積極的に進めている。地球環境の変化により天然食材に含まれる栄養分が年々減少するなど、ミネラルやビタミンを充分に摂取することが容易でない今、サプリメントに頼らず、日々の食事で栄養素を満

## 特許庁からの お知らせ 平成15年度 特許流通フェアの 開催について

特許庁では、特許流通を通じた技術移転、新規事業の創出を促進し、知的創造サイクルの活性化を図ることを目的として、特許の提供又は導入を希望する企業、大学・公的研究機関、仲介事業者、技術コンサルタントなどが直接交流するための「出会いの場」を提供する特許フェアを昨年に引き続き地方経済産業局及び沖縄総合事務局と共催して全国9ヶ所の主要都市で開催いたします。特許流通フェアでは、特許技術の展示の他、技術開発や技術移転などの専門家による講演会や出展者が保有する特許技術の説明会、相談会などを行う予定です。入場料は無料となっていますので興味のある方はお近くの会場までお越しください。

特許流通フェアの詳細につきましては、特許庁ホームページ(<http://www.jpo.go.jp/indexj.htm>)の「特許庁の取組み」をご覧ください。ご不明な点がございましたら、特許庁総務課地方班(03-3581-1101(代)/内線2107)までお問い合わせください。

※都合により、「弁理士風土記」「知的財産権立ち見席」「知的財産権豆知識」は休載いたします。

パテント・アトニー

平成15年9月18日発行 第31号 無断転載禁止  
編集/日本弁理士会広報センター  
発行/日本弁理士会  
東京都千代田区霞が関3-4-2 〒100-0013  
電話 03-3581-1211(代)  
FAX 03-3581-9188  
<http://www.jpaa.or.jp>  
「PATENT ATTORNEY」は「弁理士」のことです。

「サンアクティブFe」は、これまで世界を舞台に権威ある賞を多数受賞している。

▶2003年/Nutracon-SupplyExpo  
(健康食品展示会)  
NutrAward(最優秀賞)受賞



(取材協力/太陽化学株式会社)



◀1999年/FIE(ヨーロッパ国際食品素材展)  
The Most Innovative Food  
Ingredients Award  
(最優秀賞)受賞

たすことができればそれがベストだ。NDSがオペレーションシステムとして機能し、世界の食品業界の共通項となる日を夢見て、太陽化学の挑戦は続く。

7月1日は



## 日本弁理士会からののお知らせ

- 「特許・意匠・商標なんでも110番」  
特許、実用新案、意匠、商標等について、弁理士が無料で相談に応じます。(月～金)
- 弁理士の仕事や特許制度を易しく解説したパンフレット(無料)やビデオ(有料)があります。
- お問い合わせは下記まで  
日本弁理士会(広報課) Tel 03-3519-2361  
日本弁理士会大阪分室 Tel 06-6775-8200  
日本弁理士会名古屋分室 Tel 052-211-3110



JAPAN PATENT ATTORNEYS ASSOCIATION

日本弁理士会



古紙配合率100%再生紙を使用しています。

